



RI会長 ステファニー・アーチツク
2640 地区ガバナー 野村 壮吾

2024-2025年

Rotary District 2640 Japan



創立50周年
ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

海南東ロータリークラブ

会長 田岡 郁敏 幹事 楠部 均 SAA 前田 誠吏

第 2216 回例会

2025 年 4 月 21 日(月)



海南商工会議所 4F 12:30～

会員ト卓話

PETS 報告 会長エレクト 大江 久夫 君



1. 開会点鐘

2. ロータリーソング 「それでこそロータリー」

3. 出席報告

会員総数 40 名 出席者数 26 名

出席義務規定適用免除会員 2 名

出席率 68.42% 前回修正出席率 76.32%

4. 会長スピーチ

会長 田岡 郁敏 君

皆さんこんにちは。先週の例会後に和歌山県知事岸本周平さんが倒れたとの一報を聞きました。前日に開催された大阪万博で神輿を担いだ元気な姿を見せていらつやだったので、驚きましたが翌日 15 日に残念ながらお亡くなりになりました。



県知事という役職は大変激務だと聞いています。東京調布市にある和歌山県学生寮の先輩にもあたり身近に感じていたので非常に残念です。ご冥福をお祈り申し上げます。なお、6 月 1 日に知事選挙が行われることが決まりました。夏の参議院選挙とともに和歌山県のかじ取りを誰に任せるのか注目したいと思います。

本日は、3 月 23 日に開催されました PETS の報告となっております。会長エレクトの大江久夫さんよりよろしくお願いいたします。

それでは先週例会後に行われました理事会のご報告をさせていただきます。まず昨年まで行ってまいりました黒江のスズラン灯の協賛金ですが、今期に請求があった協賛金は昨年度分で既に支払い済みではありますが今年度分については一旦協賛を見合わせ、来年度以降については次年度理事会に諮ることとなりました。

会員増強に際して勧誘ツールとして以前作成されたクラブ入会のご案内パンフレットを今回寺下さんのご協力も得て刷新し増強に活用していくことが承認されました。

また、宇恵ロータリー財団委員長より今まで行ってきたフィリピンセブ島での水と衛生プロジェクトを次年度も継続していきたいとの提案があり地区補助金事業計画書(案)がだされ承認されました。また今後は何とか頑張っ地区グローバル補助金を使用した奉仕活動に他クラブも巻き込んで繋げたいとの熱い思いが語られました。

例年参加しているお盆に行われている第 33 回ふるさと海南祭りに今年も出店したいとの意見が出て承認されました。

例年米山奨学生の母国に関する料理を出している今年中国の奨学生にちなんで行う方向で進めていこうということです。

田中社会奉仕委員長と紀美野町社会福祉協議会との協議の中で、70 歳以上一人暮らし世帯の方々への生存確認を兼ねた弁当配布の奉仕活動でその支援の依頼が当クラブにあったと報告があり、協議の結果 3 万円を寄付することが承認されました。

来週の 27 日(日曜日)は和歌山大学にて地区研修・協議会が開催されます。出席する方々よりよろしくお願いいたします。

5. 幹事報告

幹事 楠部 均 君

○例会臨時変更のお知らせ

和歌山北 RC 5月12日(月)→ 11日(日)

春の親睦旅行(大阪・関西万博)

高野山 RC 5月23日(金)移動例会 11:00～

「清掃奉仕活動」

創立記念植樹地の除草・清掃活動

粉河 RC 5月28日(水)AM8:00～

(社会奉仕作業)

周年事業設置物周辺除草・清掃作業

国道24号線黒土交差点

○休会のお知らせ

和歌山城南 RC 5月1日(木) 8日(木)

有田 RC 5月1日(木) 8日(木)

田辺 RC 5月1日(木)

和歌山東 RC 5月1日(木)

和歌山南 RC 5月2日(金)

高野山 RC 5月2日(金) 30日(金)

和歌山北 RC 5月5日(月・祝)

田辺東 RC 5月14日(水) 28日(水)

四つのテスト 貴方はこれに達してから

①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002

海南市日方 1294 (海南商工会議所 4F)

TEL:073-483-0801 FAX:073-483-2266

<http://www.kainaneast-rc.jp>

E-mail: info@kainaneast-rc.jp

6. 表彰伝達



ポールハリス・フェロー①
田中 淳 君



ポールハリス・フェロー②
千賀 知起 君

4月は「環境月間」です

7. 会員卓話 PETS(会長エレクト研修セミナー)報告

会長エレクト 大江 久夫 君

2025年3月23日(日)ホテルグランヴィア和歌山において会長エレクト研修セミナー(PETS)が開催されました。国際ロータリー第2640地区2025-2026年度ガバナーは北野治義さんです。和泉南ロータリークラブ所属です。11時～先ず北野ガバナーエレクトから開会点鐘・奉仕の理想を斉唱・歓迎の辞・次年度地区ラーニングファシリテーター紹介・次年度地区役員等紹介・地区ガバナー挨拶・配布資料等の説明がありました。そして北野ガバナーエレクトから国際協議会報告があり、国際ロータリー2025-26年度会長はマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長エレクトでブラジル・サンパウロのサントアンドレ・ロータリークラブに所属しています。先ずはメッセージ動画を見て下さい。



RI次期会長がロータリー会員の力について語りました。国際ロータリーのマリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ会長エレクトは、2月10日、米国フロリダ州オーランドで開かれたロータリー国際協議会で、「地球上で最も有能なボランティアのチーム」を拡大する計画の概要を示し、成長、奉仕、つながりを大切に

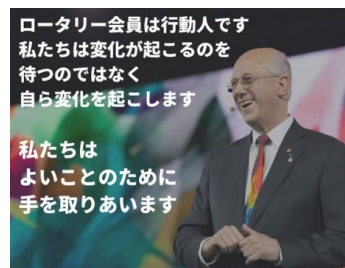
して「よいことのために手を取りあおう」と会員に呼びかけました。

「ロータリーの最大の財産は、その歴史でも、プロジェクトでも、比類のない世界的広がりでもありません。それは会員です」。こう述べたデ・カマルゴ氏は、ロータリーのパートナー団体ガバナー会員の「並外れた献身」を称賛したことに触れ、次のように続けました。「外部団体からそう認められたことで、ロータリーが世界に与えることのできる最大の贈り物は、その会員であるという私の理解が深まりました」サンパウロ(ブラジル)のサントアンドレ・ロータリークラブに所属するデ・カマルゴ氏は、新たな視点を模索し、世界の地域社会でのロータリーの奉

仕を強化することの重要性を強調しました。その上で、成長のための「不可欠な3つの柱」として、革新、継続性、パートナーシップを挙げました。

革新しながらも一貫した伝統を築く

世界がいかに急速に変化しているかを指摘したデ・カマルゴ氏は、革新を呼びかけました。「テクノロジー、社会の期待、経済状況は常に変化しており、ロータリーもそれに合わせて進



化しなければなりません。革新こそが、変化するこの世界に私たちが適応する手段なのです」これを実現する重要な方法の一つは、さまざまなクラブモデルを採用し、推進することだと、デ・カマルゴ氏は言います。衛星クラブ、分野特化別クラブ、法人クラブ、パスポートクラブなど、さまざまな方法でロータリーを体験することができます。自身の妻が50人近くの会員を擁する衛星クラブの設立に助力したことに触れ、「将来のロータリー会員はどこにでもいます。私たちは、そこに赴いて彼らを見つける必要があります」と語りました。また、リーダーシップの継続性の重要性を強調しました。過去18カ月間に多くの場所を視察してその必要性を目の当たりにしたデ・カマルゴ氏は、ガバナーが前任者の取り組みを土台とし、プログラムや戦略を中断することなく継続させることが地区の発展につながると話しました。ナイジェリアでの井戸建設、大洪水の被災者を支援するパキスタンでの取り組み、子どもたちの命を救う医療を提供するインドでのロータリー補助金プログラムを挙げたデ・カマルゴ氏は、次のように述べました。「継続性とは、画一性ではなく、連携です。地区リーダー同士の連携し、自分のガバナー年度を越えてロータリーを思い描けば、長期的な成功の土台が築かれます」

パートナーシップのカデ・カマルゴ氏は、ロータリー会員は単独でも大きな成果をあげられるが、仲間と協力すれば世界を変えることさえ可能だと述べました。その上で、ポリオ根絶に向けたロータリーの歴史的な取り組みは、ゲイツ財団、世界保健機関、UNICEF(国連児童基金)などのパートナーと連携して行われてきたことを指摘。これらのパートナー団体がいなかったら、ロータリーが同様のインパクトをもたらすことはできなかっただろう、と述べました。さらに、入会への関心を高め、クラブを活性化させるために、さまざまな形でのパートナーシップを模索するよう提案しました。事業者団体、専門職団体、学術機関などと協力することで、ロータリーは職業や考え方の多様性を取り入れながら新会員を増やすことができると、カマルゴ氏。「奉仕と参画というロータリーの価値観を共有する職業人に働きかけることで、世界でよいことをするロータリーの力を拡大できます」ロータリーのすべての功績と成長は、究極的に会員にかかっている、と述べたデ・カマルゴ氏は、会員の入会促進と維持に力を入れることで、今後も長年にわたって地



域社会に変化を生み出すロータリーの強さと力が高まると語りました。「分断されがちな世界において、ロータリーは団結と希望の光となります。私たちのプロジェクトは、人種、ジェンダー、性別、思想、経済的背景の異なる人びとを結びつけ、世界でよいことをするという共通の目的で私たちを一つにします。よいことのために手を取りあえるロータリーを築き、すべての人にとってより明るい未来を実現させましょう」というメッセージでした。

その後、北野治義ガバナーエレクトから 2025-2026 ガバナー基本方針として、「透明性のある地区事業を重視する」と発表されました。ロータリークラブは、1905 年 2 月 23 日にアメリカのシカゴで弁護士ポール・ハリスによって設立されました。彼は多様な職業を持つ人々が集まり、アイデアを交換し、生涯にわたる友情を育むことができる場としてロータリーを設立しました。その名前「ロータリー」は、当時、各メンバーの職場を持ち回りでミーティング場所としていたことに由来します。



現在、地区で行われている事業、会議の内容が全クラブに伝わっていない様に思われます。今年は各クラブのメンバーが、地区では今何をしているかが分かる事を基本に運営したいと思います。

RI 会長が日本に来られた時「1にも2にも会員増強!」と言っていました。なぜなら会員が増えてこそ、色々な奉仕活動が出来るようになるからと言われました。そこで地区の事業を各クラブのメンバーに知ってもらい、地区が今何をしているのか分かるよう風通しの良い地区を目標に挙げたいと思います。昨年からの目的を受け継ぎたいと思います。

- ・知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること
- ・職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること
- ・ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること
- ・奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること

これらの目的は、ロータリークラブが地域社会に持続的な変化を生み出すための基盤となっています。具体的には、人道的奉仕にも活動を広げ、さまざまな職業や文化をもつロータリー会員が日々、さまざまな課題を解決するために草の根の活動や国際的な取り組みを行っています。これらの活動は、ロータリーの目的である「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」を具現化しています。

現在、ロータリークラブの国際的な組織体制は、各クラブ、国際ロータリー、ロータリー財団の3つの柱で構成されています。これらが一体となって、世界中の地域社会に持続的な変化を生み出しています。

各クラブは、国際ロータリー（RI）の会員組織であり、RI は各クラブによって構成されています。各クラブは地元の人々や団体と協力しながら、持続可能な変化を生み出します。ロータリー財団は、各クラブの活動を支援し、その取り組みをさらに高めるための財団です。ロータリー財団は、識字率向上、平和構築、水と衛生の改善など、幅広い分野で持続可能な影響をもたらすために、ロータ

リーの会員が毎日、世界のどこかで活動している支援を行います。これらの組織体制を通じて、ロータリークラブは世界中で社会貢献を行っています。

報告事項として 地区大会は、2025 年 11 月 15 日（土）16 日（日）りんくうタウン駅直結のスターゲイトホテル 関西空港 で開催いたします。また、記念ゴルフ大会は、2025 年 10 月 20 日（月）にレオグラードゴルフクラブにて開催いたします。

次年度の国際大会は、2026 年 6 月 13 日～17 日：台湾（台北）で開催されます。今回はかなり近い国での開催ですので、皆さんの参加をお願いします。世界のロータリアンが一同に集まります、世界のロータリーを感じるまと無い機会です。当クラブとしてはなるべく早く参加者を募って、ホテル等予約したいと思います。

- ロータリー財団年次基金寄付目標額(案)として、一人当たり年次基金寄付 180ドル、ポリオ・プラス基金寄付 30ドル、米山記念奨学会への寄付目標額(案)として、一人当たり普通寄付 6,000 円特別寄付 10,000 円となっています。地区資金分担金(案)として、地区賦課金会員一人当たり 20,000 円、地区大会賦課金会員一人当たり 6,000 円地区大会登録料参加一人当たり 3,000 円となっています。国際ロータリー第 2640 地区 地区ビジョンについて
- ・新しい「ビジョン声明」と「戦略的優先事項」に基づき、地域の特性を考慮した活動を展開します。
 - ・中核的価値観を尊重し、柔軟に変化に対応し、持続可能なロータリーを目指します。
 - ・クラブの多様性に配慮し、活気ある魅力的なクラブ作りに注力します。

地区中期 3 ヵ年目標

(2024-2025 年度策定)、2025-2026 年度、2026-2027 年度、2027-2028 年度)

- 1.クラブ会員基盤の向上支援
 - ・各クラブに行動計画の作成を推奨します。
 - ・地区内会員数 1600 人超を目指します。
 - ・ロータリークラブのない市町村への拡大を検討します。
 - ・会員の多様性に配慮するよう推奨します (EDI の奨励)
 - ・ローターアクトクラブとの交流・共同イベントを支援します。
- 2.人道的奉仕と財団利用の推進
 - ・公共イメージ向上を図るため、人道的奉仕を重点化します。
 - ・ロータリー財団利用目標を年間 40 件とします。
 - ・ロータリー財団及び米山奨学記念奨学金への寄付を促進し、寄付ゼロクラブが無いようにします。
- 3.公共イメージとデジタル化の促進
 - ・地域社会に開かれたロータリーイメージを意識し、ロータリー・デーなどを推奨します。
 - ・各種メディアを積極的に利用します。
 - ・「My Rotary」の登録率を 88%に設定します。
 - ・デジタル化とデータ活用のため、ロータリークラブセントラルへの入力を各クラブが行えるようにします。
- 4.多様性・公平さ・インクルージョン (DEI) 推進
 - ・すべてのロータリー活動で「多様性・公平さ・インクルージョン」(DEI)を必要し行動します。
- 5.社会変革への対応と「RLI (ロータリー・リーダーシップ研究会)」の推進
 - ・質の高いリーダーシップ教育を通じて、将来のクラブリーダーを育成します。

8. 閉会点鐘

次回例会 第 2217 回 2025 年 4 月 28(月)
海南商工会議所 4F 12:30～
会員卓話 IDM 報告



ニコニコ・BOX

田岡 郁敏 君 子供の18歳の成人式がありました。
前田 誠吏 君 腰痛 だいぶ良くなっています。
大江 久夫 君 PETS の報告させていただきます。
田岡 郁敏 君 大江会長エレクト、本日の PETS 報告
宜しくお願いたします。
楠部 均 君 //
前田 誠吏 君 //
IDM 4組 残金
IDM 2組 残金



Rotary

END
POLIO
NOW



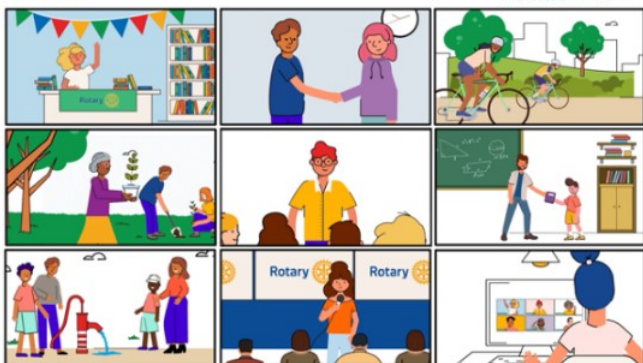
世界予防接種週間
4月24日～30日



会員増強

2025年4月

会員増強のアイデア



人びとのニーズに応えるロータリークラブをつくろう

ロータリークラブとローターアクトクラブは、中核的価値観と奉仕への強いコミットメントを分かちあっている一方、各クラブが独自の体験を会員に提供しています。革新的なクラブモデルを用いて新クラブを結成することは、会員のニーズを満たし、入会候補者の関心を引く体験を生み出す方法となります。

会員を増やしてもっと「世界でよいことをしよう」

友人や知人、家族、近隣の人びとをロータリーの活動に招き、ロータリーの素晴らしさを分かちあいましょう。自分が入会した理由のほか、ロータリーを通じて知り合いが広がり、地域や世界にインパクトを与え、自分自身も成長できることを伝えましょう。メンバーシップ・ソサエティのギャラリーで、25 人以上の新会員を推薦した会員のリストをご覧ください。

自分にあったロータリーの体験をデザインしよう

ロータリー会員には、知り合いを増やし、意義ある奉仕活動に参加し、リーダーシップを発揮し、視野を広げる多くの機会があります。「自分にあったロータリーの体験をデザインしよう」は、会員が自分にあったかたちでロータリーに参加するためのさまざまな方法を紹介しています。ロータリーについて学んでいる新会員や、新しい参加方法に関心のある会員に、このガイドをご紹介します。

子どもへの奉仕を重視する新クラブ

2024年7月に誕生した大阪上方ロータリークラブは、ポリオ根絶と子どもへの奉仕に重点を置いているクラブです。このクラブは「地域社会にもっと合った新クラブを結成する時が来ている」というアーチック国際ロータリー会長の言葉にインスピレーションを受けて設立されました。早速始めた社会奉仕活動では、障がい児たちのための歯科医療を支援しています。

グローバル補助金の提唱を通じてローターアクターが得た学び

ローターアクトクラブも財団グローバル補助金を提唱できるようになり、その第一号となったのは日本のクラブでした。プロジェクト実施地であるモンゴルを訪問した大阪東ローターアクトクラブの会員たちは、モンゴルの人びとの温かいもてなしに魅了だけでなく、現地の切実なニーズについて学び、何よりも持続可能なプロジェクトの大切さに気づきました。

ROTARY'S SERVICE PROJECT CENTER

Visit spc.rotary.org today



より良い地域社会を目指して

ロータリー会員とロータリープログラムの参加者は、日々、当面活動中に変化を行っています。地元や海外で実施されているプロジェクトの数々をご覧ください。これらのプロジェクトはソーシャルメディアでシェアすることができます。 <https://spc.rotary.org/>

入会候補者と新会員について知る

退会する会員が挙げる主な退会理由に「期待外れだった」という声があります。新会員や入会候補者について早い段階で知っておくことは、会員とクラブの双方にとってメリットがあります。会員の経歴、関心、どのような貢献をしたいかを把握しておくことで、クラブがその期待に応え、どうすれば楽しく参加してもらえるかを見定めることができます。そうすれば、クラブが発展する機会も見つかるでしょう。クラブがもっと柔軟に、より多くの人びとを受け入れられるための方法も見つかるかもしれません。